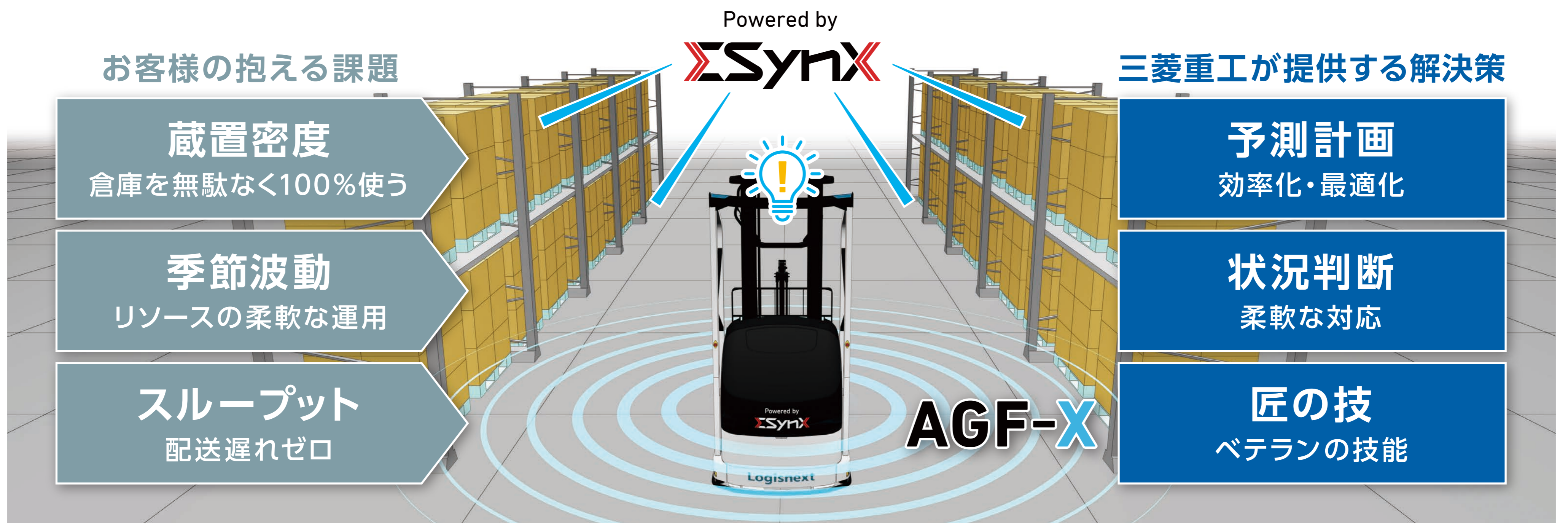


ΣSynX^{※1}が実現するさらなる物流知能化

すべてのゲンバに熟練オペレーターの知恵と技を

かしこくつなぐ 自動入出庫ソリューション

熟練オペレーターの「ノウハウ (知能)」をWCS^{※2}に実装し、さらにフォークリフトオペレーターの「匠の技」をAGF-Xに実装することで、柔軟な自律運転や有人フォークリフトとの協調など、かしこい倉庫運用を実現します。



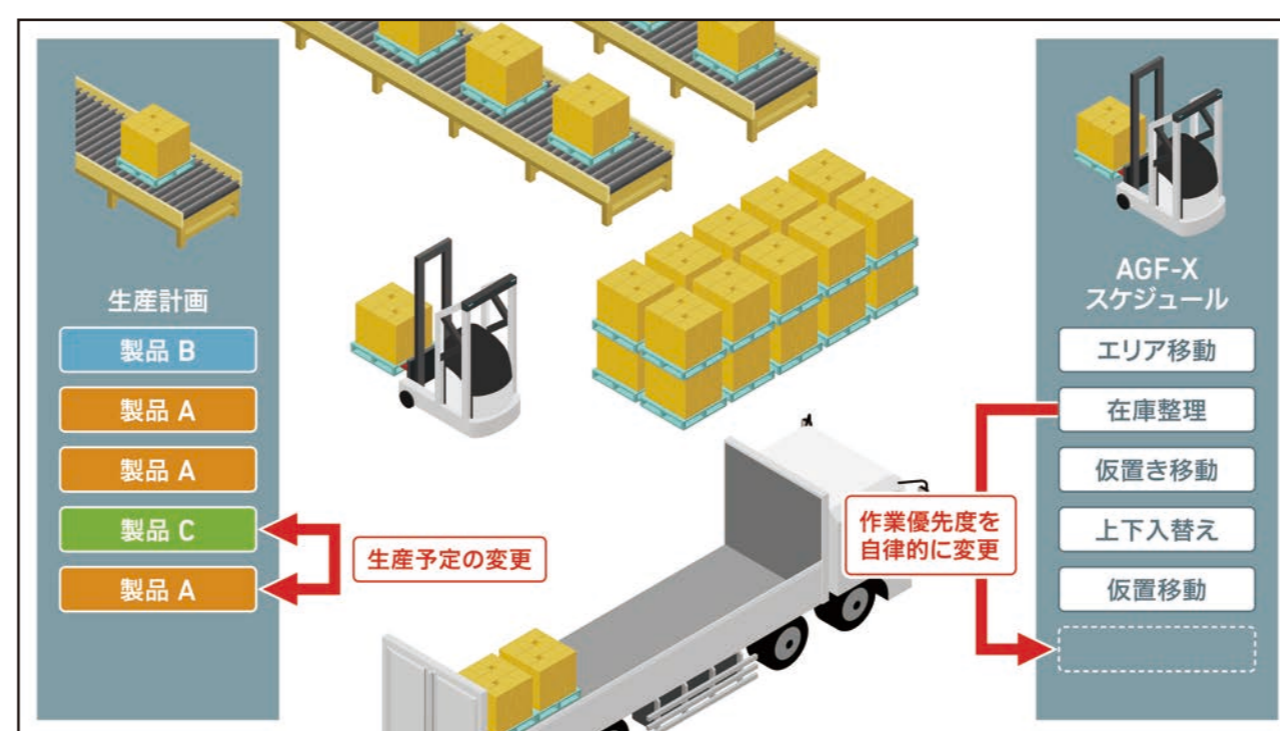
トラック待機時間削減

トラックの到着に合わせて予め出荷する荷物を自動で揃えておきます。



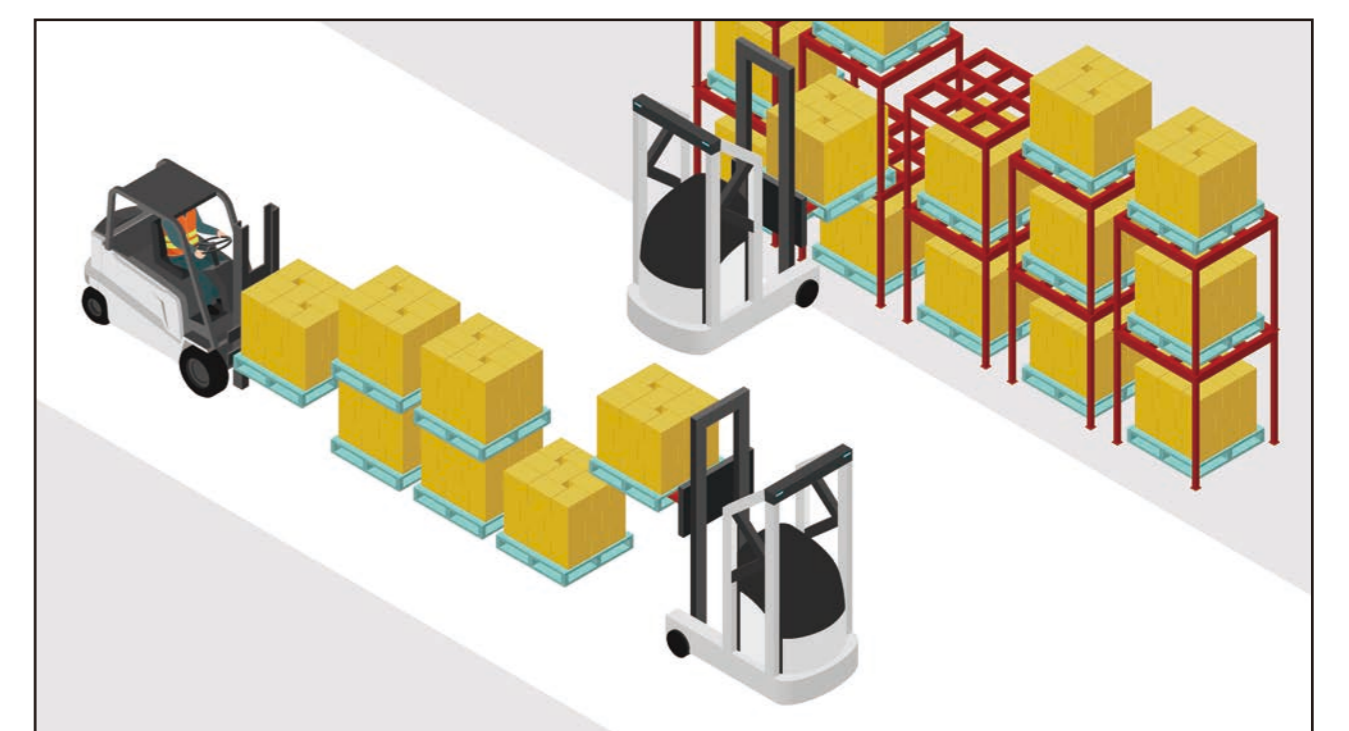
計画変更時のアイドルタイム削減

計画変更に合わせて、作業優先度の変更やロケーション・走行ルートの変更を自動で行います。



庫内リソースの最大活用

荷物や棚のズレにもAGF-Xが柔軟に対応。さらに、有人フォークリフトとの安全な共同作業も実現します。



共同実証施設のご紹介

お客様の現場と三菱重工が運営する共創空間であるYokohama Hardtech Hubの実証設備を活用頂き、システム導入前のお客様とのPoC^{※3}活動や、導入後の継続的なハード、ソフトのアップデートの検討・提案を行うことが可能です。

物流知能化ソリューション 実証エリア



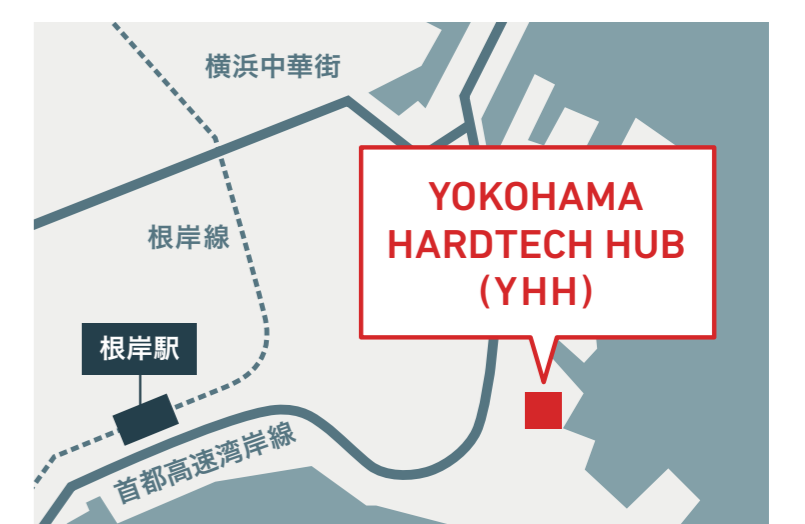
お客さま見学



ピッキングソリューション



トラック入出荷



HARDTECH HUB
YOKOHAMA

※1 ΣSynXは、「Σ=総和」「Syn=同調・協調」「X=未来」をそれぞれ表した、三菱重工グループ製品全体を自律化・知能化する標準プラットフォームです。

※2 WCS (Warehouse Control System): 倉庫制御システム

※3 PoC (Proof Of Concept): 新しい事業や技術、アイデアなどの実証を目的とした試作開発前の検証のこと